

# 稿 寄 広域連携で活力ある地域圏を おだわらを拓く力

加藤 憲一

10月30日、県市町村合併推進審議会の答申に、県西部2市8町は一体となつて合併を推進すべきと

違いありません。今年7月に視察で訪ねたドイツ南部・フライブルク市周辺の観光振興の取り組みは、広域連携の素晴らしい事例でした。「黒い森」の広大な森林、美しい酪農景観、環境に配慮した街づくり、数々の地場産業などの要素を見事に活かして、ドイツでも屈指の滞在型観光地域となつています。

自治体は勿論、民間の交通機関や各種事業者が密接に連携。地域資源の掘り起こしを進め、様々なサービスや情報提供を一体的に行っています。

この地域に住む私たちの将来にわたる安心を築けるのです。

かつての小田原藩、人口約40万人、豊富な地域資源に恵まれた、わがあしがら「地域圏」制度的な合併の実現可能性はともかく、一つの圏域として連携を大幅に強めるべき時期にきていることは間違いない。

衰退傾向にあつた町や村が、連携することで、地域圏の中で個性と役割を発揮。来訪者の増加は地域経済を潤しています。

首都圏からのアクセスと豊富な自然環境や地域資源に恵まれた「あしがら地域」は、広域連携を強めることで他地域にはないトータルな魅力を持つ地域圏となることができます。更に、暮らしや経済に必要な機能を総合的に持つ「自給圏」として育てることで、都市部からの来訪者のためだけでなく、

今年29日、フライブルク在住の環境ジャーナリスト池田憲昭氏が来日、現地の取り組みを小田原で詳しく講演してくれました。ぜひ多くの方にお聞き頂き、あしがらの豊かな未来を考えるヒントにして頂ければ幸いです。※詳しくは右の記事をご覧ください。



かとうけんいち  
1964年小田原生まれ。小田原高校、京都大学法学部卒。経営戦略コンサルティング会社、民間教育団体、農業、オービックビル事務局長などを経て、現在有限会社あしがら総研代表。妻と子ども2人の4人家族。

ご意見お待ちしております  
**おだわらを拓く力**  
(加藤けんいち後援会)  
小田原市栄町2-13-1-2F  
**TEL.0465-21-5260**  
<http://www.katoken.info>